

ポスター報告 16

藤井 梓 立命館大学 先端総合学術研究科

#報告題目 カナダにおける CELDIC 報告の特徴～教育分野への影響に着目して～

#報告キーワード カナダ 特別ニーズ教育 インクルーシブ教育

#報告要旨

1. はじめに

「CELDIC 報告」は、1966 年にカナダ政府によって設立された「情動・学習障害の子ども委員会」(The Commission on Emotional and Learning Disorders in Children)の最終報告である。同報告では、当時 19 歳までの人口の約 12% (約 100 万人)とされていた、情動・学習障害のある子ども達のニーズを満たすための、多岐にわたる包括的な計画を示していたとされるものの、当該報告が作成された経緯や、その内容を詳細に分析した研究はこれまで見られない。本研究は主資料として「「CELDIC 報告」を用い、適宜関連する論文も参照する。本研究は歴史研究であることから、当該国で用いられていた表現を原則的に使用する。なお本研究は、社会福祉学会の倫理綱領に基づく研究指針を遵守して実施する。以下、研究結果における要点を述べる。詳細及びその考察については当日の発表資料を参照されたい。

2. CELDIC 報告が作成された経緯

1960 年代中頃、教育分野では特殊学級数の増加が見られ、ニーズのある子ども達への包括的な支援制度の構築が求められていたと考えられる。また国内では人口分布の変化や移民政策等の影響により、子ども達への福祉サービス全体に改善の必要性があったとも推察される。それらの問題に関して広範囲の全国的な研究を行うために同委員会が設立され、3 年間の全国的な調査を基に「CELDIC 報告」が発表された。

3. CELDIC 報告の内容の特徴

CELDIC 報告では、包括的なパーソナルケアサービスの設置に関して、報告全体を通して 144 の提言が盛り込まれている。例えば教育分野では、「全ての子どもへの保育園・幼

稚園プログラム」「子どもの問題の早期発見」「低学年における少人数学級（20人）」「有償・無償の教員補助員」「進級に伴う連続的な進歩に対する準備」「子ども達のニーズに合わせて調整される柔軟なカリキュラム」等が提言されている。また特別な学級・学校への分離に対して強く反対していることから、今日におけるインクルーシブ教育の理念に通ずるものが示されているといえる。

4. 教育分野への影響

同報告において示された教育的概念の転換に関してアンドリュースら（1993）は、以下の3点を挙げている。

- ①全ての子どもが、彼らの最大限の可能性に気づくために必要とされる教育への権利を持つこと。
- ②全ての生徒への教育資金は、教育的組織の責任であること。
- ③特別な学習的ニーズのある生徒は、出来る限りインテグレーションされるべきであること。（p.40）

さらに「特殊教育におけるカテゴリカルなアプローチではなく、個々の学習の特性に基づく指導を推奨した。」（p.40）と指摘していることから、CELDIC 報告における、全ての子どもの教育の権利に基づく公教育の在り方への提言と特別なニーズのある児童生徒のインテグレーションの推奨によって、カナダにおける障害のある児童生徒の教育は、理念的な転換がもたらされた。一方、同時期には隣国アメリカにおいて全障害児教育法(1975年)が制定されている。フィリップット（2001）が、「CELDIC 報告が将来の教育モデルにおける劇的な影響をもたらした一方で、法的に障害のある児童生徒の教育の権利を固めたのはアメリカであった。」としているように、CELDIC 報告自体に法的根拠はなく、その後1970年代後半及び1980年代にかけて、多くの州で障害のある児童生徒の公教育の義務化に関する法整備の動きが見られている。

5. 引用・参考文献

- ・ Andrews, J., & Lupart, J. L. (1993). 『The inclusive classroom: Educating exceptional children』. Toronto, Canada: Nelson
- ・ Philpott, D. 「Inclusion Education: Reviewing the Criticism to Find Direction,」 The Morning Watch, Vol. 28, Nos. 3-4, 2001.
- ・ Commission on Emotional and Learning Disorders in Children. (1970) 「One million children: A national study of Canadian children with emotional and learning disorders.」 Toronto, Ontario. 他

